

# 綾高図書館だより

第2号

【本校図書館発行】

H30.6

## 開館カレンダー

6月図書館開館予定						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 <b>休館</b>	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26 <small>考査 一週間前</small>	27	28	29	30

**CLOSED**

6/11 (月)  
は一日閉館  
します。

## お知らせ

## Library News

図書館の雑誌が変わります！

購読停止

- 「ニュースがわかる」
- 「オレンジページ」
- 「Number」
- 「コーチングクリニック」

新規購読誌

- 「新聞ダイジェスト」、「高校生新聞」
- 「きょうの料理ビギナーズ」
- 「トレーニングジャーナル」

## 新着図書案内

**NEW**

『星の子』 今村夏子著

病弱な娘ちひろを救うためにあやしい宗教にのめりこんだ両親。

ちひろにとっても信仰は日常の一部だったが…。

7位



『屍人荘の殺人』 今村昌弘著

映画研究部の夏合宿に参加したミス터리愛好会の学生たち。日くがあるという合宿、一人の学生が死体で発見される！

3位



『キラキラ共和国』 小川糸著

『ツバキ文具店』に続く第二巻。鎌倉で文房具と代筆を営む鳩子の、ひっそりキラキラ光る毎日を描いた作品。

10位



『騙し絵の牙』 塩田武士著

俳優・大泉洋を主人公にした異例の小説。不景気から抜け出せない出版業界に刃向う一人の雑誌編集長を大泉洋が熱演。

6位



『崩れる脳を抱きしめて』 知念実希人著

“今世紀最高の恋愛ミステリー” 脳腫瘍を患う女性と運命的に出会った研修医。しかし、彼女は突然不可解な死を遂げてしまう。

8位



『たゆたえども沈まず』


原田マハ著

天才画家ゴッホの短くも激しい人生を、彼を支えた画商の弟テオの目線から捉えた、珠玉の一冊。

4位



<p>『百貨の魔法』 村山早紀著 閉店の噂が立つ風早町の老舗百貨店・星野百貨店。店を愛する従業員たちと、百貨店に住むと言われる幻の白猫をめぐる魔法の物語。</p> <p style="text-align: right;"> <b>9位</b></p>	<p>『盤上の向日葵』 柚月裕子著 山中で見つかった白骨死体は貴重な将棋の駒を所持していた。そこから浮かび上がったのは異端の天才棋士！</p> <p style="text-align: right;"> <b>2位</b></p>	<p>『カラヴァル 深紅色の少女』 ステファニー・ガーバー著 翻訳小説部門本屋大賞作品。島全体が脱出ゲームと化する“カラヴァル”に挑戦する少女の物語。</p> <p style="text-align: right;"> <b>1位</b></p>
<p>『EPITAPH 東京』 恩田陸著 行きつけのバーで知り合った男は吸血鬼だった。彼は“東京”を舞台にした劇について悩む脚本家に告げる。東京の秘密は“死者”にあると。</p>	<p>『青くて痛くて脆い』 住野よる著 『きみの臍臓〜』作者の最新作。就職を間近に控え主人公の大学生。彼はある少女のために社会へ“叛逆”する。</p>	<p>『家族シアター』 辻村深月著 好きなのに嫌い—母と娘、父と息子、祖父と孫、姉と弟。家族だから起こる衝突を辻村節で丁寧に描いた短編集。</p>
<p>『魔力の胎動』 東野圭吾著 映画化される『ラプラスの魔女』以前の出来事をまとめたシリーズ第二作。粒子の流れから未来を予測する“魔女”が現れるところには必ず事件が起こる！</p>	<p>『文豪ストレイドッグス DEAD APPLE』 文豪ストレイドッグス DA 制作委員会著 “文スト”シリーズの映画作品をノベライズした作品。</p>	<p>『この世の春 上・下巻』 宮部みゆき著 ミステリー作家宮部みゆきがデビュー三十周年を記念して執筆した歴史小説&amp;サイコミステリーの超大作。</p>
<p>『コンビニたそがれ堂 小鳥の手紙』 村山早紀著 探しものが必ず見つかる神出鬼没の不思議なコンビニを描いた人気シリーズ第7巻。本屋大賞9位の作品とコラボあり。</p>	<p>『ちはやふる 36・37 巻』 末次由紀著 東西の名人・クイーン決定戦を描いた怒涛の36・37巻。果たして千早、新たたちの勝利の行方は！？</p>	<p>『小説 映画ちはやふる』 結末次由紀、小泉徳宏著 映画「ちはやふる結び」のノベライズ作品登場。</p>
<p>『コウノドリ 21・22 巻』 鈴ノ木ユウ著 人気ドラマの原作シリーズ最新刊。「子宮内膜症」や「妊娠糖尿病」、ドラマでは扱っていない災害時の産婦人科医療が描かれています。</p>	<div style="text-align: right;">  <b>全書店員が選んだ「いちばん!」</b> 2018年本屋大賞 全書店員の投票で選ばれたベスト10 『かがみの孤城』 辻村深月(ポプラ社) 『盤上の向日葵』 柚月裕子(中央公論新社) 『屍人荘の殺人』 伊坂幸太郎(東洋館) 『たゆたえども沈まず』 原田マハ(幻冬舎) 『AXアックス』 伊坂幸太郎(角川) 『騙し絵の牙』 堀田武士(KADOKAWA) 『星の子』 今村夏子(朝日新聞出版) 『崩れる脳を抱きしめて』 知念希実(宝島社) 『百貨の魔法』 村山早紀(ポプラ社) 『キラキラ共和国』 小川糸(冬舎) </div>	

本屋大賞受賞作  
全作品(  マークの本)が図書館  
に入りました!